

令和7年度海老名市一般会計決算の概要

つながりを力に、未来のまちづくり

決算の状況

() 内は対前年度比

- ◆一般会計歳入決算額 645億1,811万1,585円
(69億1,169万5,214円、12.0%の増)
- ◆一般会計歳出決算額 615億7,607万2,440円
(59億4,679万5,388円、10.7%の増)

歳入（一般会計）

() 内は対前年度比

- 市税 279億2,300万円（16億600万円、6.1%増）
 - ・個人市民税 111億6,800万円（16億3,500万円、17.1%増）
 - ・法人市民税 16億7,700万円（4億4,600万円、21.0%減）
 - ・固定資産税 121億8,200万円（3億5,200万円、3.0%増）
- 国・県支出金 169億5,700万円（19億8,500万円、13.3%増）
- 繰入金 26億5,200万円（6,000万円、2.2%減）
- 市債 47億2,700万円（22億7,800万円、93.0%増）

歳出（一般会計）

() 内は対前年度比

- 義務的経費 297億1,800万円（11億5,700万円、4.1%増）
 - ・人件費 93億9,900万円（5億4,900万円、6.2%増）
 - ・扶助費 174億3,100万円（7億100万円、4.2%増）
 - ・公債費 28億8,800万円（9,200万円、3.1%減）

義務的経費のうち、人件費及び扶助費が増加しました。扶助費は、子育て支援や障がい者支援に係る経費が引き続き伸びていることなどにより増加しました。

義務的経費は今後も増加が見込まれるため、財政構造の弾力性確保の点から引き続き注視が必要です。

- 普通建設事業費 90億4,900万円（51億6,900万円、133.2%増）

普通建設事業費は、高機能消防指令システムの更新や中新田丸田地区土地区画整理事業が進捗したことなどにより増額となりました。

令和7年度の主な取組

令和7年度は「つながりを力に、未来のまちづくり」をテーマに、市民、企業、近隣自治体など様々な方との「つながり」を強固なものとし、市民サービスの質の向上を図り、より豊かで魅力あるまちを目指して、計画的かつ戦略的にまちづくりに取り組みました。

充実して暮らせるまち



■ 登別市との姉妹都市協定締結10周年記念式典の実施

90万円

北海道登別市と姉妹都市として提携10周年を迎えたことから、「10周年記念式典」を行いました。



犯罪被害者等
支援案内リーフレット



登別市との姉妹都市提携
10周年記念式典

■ 犯罪被害者等支援制度の創設 60万円

犯罪被害者等への経済的支援を目的とした見舞金制度や日常生活支援事業等を創設し、安心して暮らすことができる地域社会の実現に努めました。

健やかに暮らせるまち



■ 公私連携型保育所の整備 1,300万円

待機児童の解消に向けて、民間の保育事業者と連携し、本庁舎南側の敷地内に公私連携型保育所を開所しました。(令和7年10月開所)



公私連携型保育所

■ (仮称) 障がい者ケアセンターの建設 2億9,800万円

利用制限等の課題解決を図るとともに、将来的な需要予測に基づく障がい者の増加に対応するため、(仮称)障がい者ケアセンターの建設工事を実施しました。

にぎわいがあり自然に優しいまち



■ 創業支援補助金の創設 200万円

市内産業の活性化及び振興を図るため、創業支援補助金を創設し、空き店舗や既存店舗を改修して新たに出店する创业者の支援を行いました。



イルミネーション事業

■ イルミネーション事業の実施 2,000万円

海老名中央公園をメイン会場に駅の東西を繋ぐイルミネーションを実施し、さらなるにぎわいを創出しました。

便利で快適に暮らせるまち



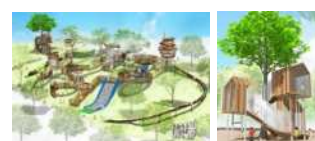
■ 中新田丸田地区土地区画整理事業の推進 10億8,700万円

中新田丸田地区は、令和6年3月に土地区画整理組合設立が認可され、同年7月から組合による造成工事に着手しました。令和7年度は、引き続き地盤改良を実施することと併せて、地区内道路等の公共施設の整備を推進しました。



■ (仮称) 大谷・杉久保地区公園の整備 2億8,800万円

周辺施設との連携による賑わいの創出や地域の活性化に向けて、公園整備に関する基礎資料等の作成及び事業用地の確保に取り組みました。



(仮称)大谷・杉久保地区公園
整備イメージ

■ 住宅断熱改修促進事業補助金の創設 650万円

既存住宅の高断熱化に対する支援を行い、環境に配慮した住宅の普及促進に取り組みました。

豊かな学びを育むまち



■今泉小学校増築校舎の整備 4,400万円

海老名駅西口地区の人口増により、教室数の不足が見込まれるため、令和9年度の供用開始を目指して増築校舎を整備します。令和7年度は設計業務を行いました。



今泉小学校増築校舎イメージ

■フルインクルーシブ教育の推進 700万円

すべての子どもが安心して学習・生活できる環境づくりとして、デジタル目盛り付時計を小学校全学級教室に設置しました。また、外国籍の児童生徒や保護者等とのコミュニケーションを円滑にするため、字幕表示システム(コトパット)を導入しました。



字幕表示システム
(コトパット)



デジタル目盛り付時計

■小中学校屋内運動場空調機の整備 1,800万円

児童生徒に安全・安心な学習環境を提供するとともに、避難所予定施設として機能強化を図るため、小中学校の屋内運動場に空調機を整備しました。

安全で安心して暮らせるまち



■4市間の消防通信指令業務の共同運用に向けた整備 20億8,600万円

市民サービスの向上及び消防行財政の効率化を図るための、現状の3市(海老名市、座間市、綾瀬市)から大和市を加えた4市での共同運用について、令和8年3月にシステム切替えが完了し、共同運用を開始しました。



県央東部消防指令センター

■大規模災害発生に備えた通信環境の整備 310万円

大規模災害発生時における通信環境を確保するため、衛星回線アンテナ(スターリンク)を導入し、有事の際の情報共有手段の充実を図りました。



衛星回線アンテナ
(スターリンク)



気象観測装置
(ポテカ)

■気象観測装置(ポテカ)の導入 170万円

市内の気温や雨量等の気象データを収集し、熱中症対策や大雨対策等に活用するため、気象観測装置(ポテカ)を市内5か所に設置しました。

かがやきを創造するまち



■スマートキーボックスの導入 950万円

小中学校の体育館の外壁などにスマートキーボックスを設置し、鍵の貸し借りの手間を省くことで、一般開放利用者の利便性向上を図りました。



スマートキーボックス

■口座振替のWEB申込サービスの導入 1,800万円

口座振替におけるWEB申込サービスの導入により、インターネット上で口座振替登録の手続きが可能となることで、口座振替申込者の利便性の向上を図りました。

新たな発見ができるまち



■シティプロモーションの推進 140万円

海老名駅自由通路と海老名中央公園をつなぐ階段に、小田急・相鉄と連携して階段アートを製作しました。

また、市内の人気スポットや風景を撮影したプロモーション動画を製作し、相鉄線のトレインビジョンへ放映しました。



階段アート



トレインビジョン

基金及び市債残高の状況

- 基金残高は、88億99百万円（前年度比1億36百万円、1.5%の減）となりました。
- 市債残高は、適債事業に対して必要な借り入れを行っていることから、404億34百万円（前年度比17億61百万円、4.6 %の増）となりました。
市民一人当たりの市債残高は県内16市と比較して低い水準となる見込みです。

（単位：千円）

区分	令和7年度末	令和6年度末	増減額	増減率
基金残高	8,898,704	9,034,270	△135,566	△1.5%
市債残高	40,434,363	38,673,039	1,761,324	4.6%
一般会計分	29,947,007	27,935,094	2,011,913	7.2%
特別会計分	76,352	87,178	△10,826	△12.4%
企業会計分	10,411,004	10,650,767	△239,763	△2.3%

注：市債残高における特別会計分は、公共用地先行取得事業特別会計です。

財政力指数及び経常収支比率

- 令和7年度の財政力指数（単年度）は1.091（前年度比0.031ポイント増）となり、前年度に引き続き普通交付税不交付団体となりました。
- 経常収支比率は、物価高騰の影響による賄材料費などの物件費や人件費などの経常的な支出が増加しましたが、市税などの経常的な収入が大きく増加したことにより94.9%（前年度比0.8ポイント減）となりました。

区分	令和7年度	令和6年度	増減
財政力指数（3か年平均）	1.073	1.054	0.019
財政力指数（単年度）	1.091	1.060	0.031
経常収支比率（%）	94.9	95.7	△0.8
実質収支比率（%）	7.4	5.0	2.4

注：実質収支比率は、決算統計に基づき算定しています。

健全化判断比率及び資金不足比率

- 健全化判断比率及び資金不足比率については、いずれの比率も国が定めた基準を大きく下回っており、本市の財政の健全性は財政健全化法上も問題ないこととなりました。

【健全化判断比率】

区分	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－（赤字なし）	11.76%
連結実質赤字比率	－（赤字なし）	16.76%
実質公債費比率	5.5%	25.0 %
将来負担比率	38.1%	350.0 %

【資金不足比率】

区分	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	－（資金不足なし）	20.0 %

お 問 い 合 わ せ 先

海老名市 財務部 企画財政課 電話 046-235-8453（直通）
FAX 046-233-9118 E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp